

社会資本整備総合交付金（事後評価）

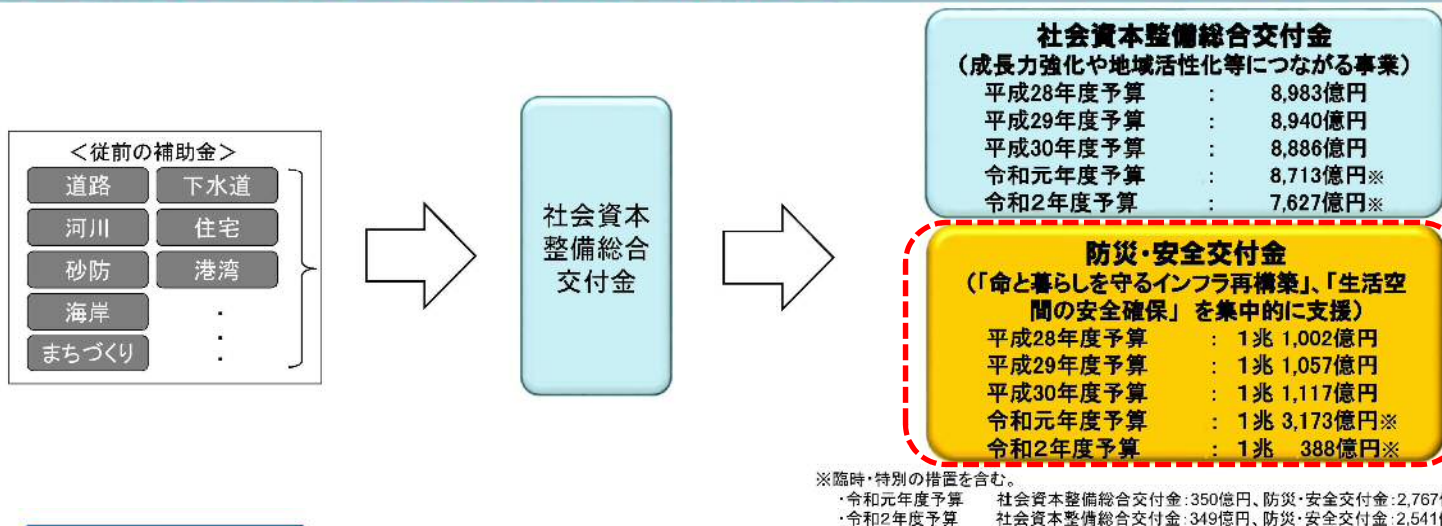
Pa 1 7 道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高い
みちづくり（橋梁・トンネル等）



滋賀県土木交通部道路保全課

◆社会資本整備総合交付金の概要

- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって**自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金**として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、**地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援**するため、平成24年度補正予算において創設。



両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の16事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。

Pa17を設定

出典:国土交通省HP「社会資本整備総合交付金」

令和2年度に「道路メンテナンス事業補助」が創設

=「橋梁・トンネル等」の修繕は交付金事業から補助事業へ移行

◆修繕着手・完了に至るまで

- ①橋梁、トンネル等の道路施設の定期点検実施(各施設5年に1回)
 - 道路法施行規則に基づく



- ②点検結果に基づく長寿命化修繕計画の策定
 - 修繕着手時期を明記
 - 点検結果を踏まえ、5年に1回見直し



- ③修繕計画に基づき修繕設計に着手
 - 建設コンサルタントへの委託設計



- ④修繕工事に着手
 - 概ね修繕設計実施の翌年度に工事実施

滋賀県公共事業等計画評価実施要綱

第3 中間評価および事後評価の内容

1 知事は、次に掲げる事項について中間評価を行うものとする。

- (1) 事業の進捗状況
- (2) 事業効果の発現状況
- (3) 評価指標の目標値の実現状況

2 知事は、次に掲げる事項について事後評価を行い、今後の方針の案を作成するものとする。

- (1) 事業の進捗状況
- (2) 事業効果の発現状況
- (3) 評価指標の目標値の実現状況
- (4) 主要な事業に関する次の事項
 - ア 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - イ 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化
 - ウ コスト縮減および代替案立案等の可能性
 - エ その他必要と考えられる事項

3 2の(4)の主要な事業は、対象事業のうち、県が事業主体となって実施する公共事業で、かつ、次のいずれか※に該当するものとする。ただし、維持管理に係る事業を除く。 ※省略

当計画は要綱2(4)の対象外

◆当整備計画（Pa17）について

【計画の名称】

- 道路施設点検および計画的な修繕に関する信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）

【計画の期間】

- 平成30年度～令和4年度（5年間）

【交付対象】

- 滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

【計画の目標】

- 老朽化する道路施設の定期点検を実施し、計画的に橋梁・トンネル等の修繕を行うことにより、信頼性の高い道路交通を確保することを目標とする。

【計画の定量的指標】

- 橋梁長寿命化修繕計画を推進するものとし、計画に基づく着手済み橋梁の割合を0%（H30）から100%（R4）に増大させる。

◆橋梁長寿命化計画に基づく着手済み橋梁割合

R4年度までに着手する橋梁数 / 橋梁長寿命化修繕計画に位置付けされた整備計画期間内(H30～R4)の橋梁数

橋梁の損傷事例(米原こ線橋)



橋梁下面の状況

トンネルの損傷事例(賤ヶ岳隧道)



◆滋賀県および市町の修繕予定橋梁数

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



●定量的指標達成のボリューム

項目	滋賀県	市町	合計	定量的指標
管理橋梁数	3,085	7,822	10,907	-
整備計画における 修繕着手予定橋梁数 (H30～R4)	145	303	448	R2: 50% R4: 100%



R2年度末までに224橋以上（448橋×50%）の修繕着手が目標

◆要綱第3-2-(2) 事業効果の発現状況 Pa17

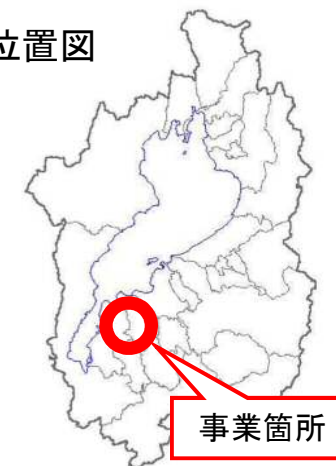
道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



ちしろこせんきょう

- 橋梁名・路線名：千代跨線橋（県道 片岡栗東線）
- 建設年：昭和56年（1981年） 建設後39年
- 整備箇所：守山市勝部
- 工期：R2.3~R2.11
- 整備内容：伸縮装置交換、コンクリート表面保護、舗装修繕など
- 全体延長：L=160m
- 全体事業費：139百万円
- 整備状況

位置図



整備前



整備後



◆要綱第3-2-(2) 事業効果の発現状況 Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



- 橋梁名・路線名：天野川側道橋（あまのかわそくどうきょう 県道 おおのぎ 大野木志賀谷長浜線 しがや ながはま）
- 建設年：昭和50年（1975年） 建設後45年
- 整備箇所：米原市長岡
- 工期：R1.9~R2.2
- 修繕内容：塗装塗り替え、防護柵更新ほか
- 全体延長：L=44.2m
- 全体事業費：73百万円
- 整備状況

位置図



整備前



整備後



◆要綱第3-2-(2) 事業効果の発現状況 Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



- 橋梁名・路線名：中島北橋(国道303号)
- 建設年：昭和61年(1986年) 建設後34年
- 整備箇所：長浜市木之本町音羽
- 工期：H30.10～R1.5
- 整備内容：床版修繕、舗装修繕
- 全体延長：L=33.5m
- 全体事業費：80百万円
- 整備状況

位置図



整備前



路面状況



路面下状況
(遊離石灰有り)



整備後



床版修繕状況

◆要綱第3-2-(2) 事業効果の発現状況 Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



- トンネル名・路線名：^{ざおうずいどう}蔵王隧道（国道477号）
- 建設年：昭和60年（1985年） 建設後35年
- 整備箇所：蒲生郡日野町蔵王
- 工期：H30.11～H31.3
- 修繕内容：漏水対策、コンクリート剥落対策
- 全体延長：L=188m
- 全体事業費：28百万円
- 整備状況

位置図



事業箇所

整備前



整備後



側壁の漏水対策

剥落対策

◆要綱第3-2-(2) 事業効果の発現状況 Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



- トンネル名・路線名：しずがたけずいどう 賤ヶ岳隧道（はんのうらおと 県道 飯浦大音線）
- 建設年：昭和2年（1927年）建設後93年
- 整備箇所：長浜市木之本町山梨子～大音
- 工期：H30.12～R1.10
- 修繕内容：漏水対策、コンクリート剥落対策
- 全体延長：L=382m
- 全体事業費：175百万円
- 整備状況



整備前



整備後



◆要綱第3-2-(1) 事業の進捗状況 Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル等）



●総事業費に占める3か年の実施済み事業費の割合

整備計画	現時点の状況 (R2年度末見込み)	
事業費(a)	実施事業費(b)	(b)/(a)
35,826百万円	19,783百万円	55.2%

※事業費(a) : 対象事業における着手から完了までの全事業費

※事業費(b) : 対象事業における整備計画期間内（平成30年度から令和2年度）の投入事業費
ただし、R2年度は交付金事業から補助事業へ移行したため、補助事業費を計上

●事業進捗状況（R2年度末までの着手予定を含む橋梁修繕事業）

着手目標(c)	着手した実績(d)	進捗率 (d)/(c)
448橋	284橋	63.4%

◆要綱第3-2-(3) 評価指標の目標値の実現状況 Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル）



■成果指標

・橋梁長寿命化修繕計画を推進するものとし、計画に基づく着手済み橋梁の割合を0%(H30)から100%(R4)に増大させる。

※ ここでいう「着手」とは、修繕設計の着手

■定量的指標の算定式

・橋梁長寿命化計画に基づく着手済み橋梁割合

$$\text{R4までに着手する橋梁数} / \text{橋梁長寿命化修繕計画に位置付けされた整備計画期間内(H30~R4)の橋梁数}$$

【橋梁長寿命化着手済み橋梁割合】

	目標値	実績値
当初(H30)	—	—
中間年(R2年度末)	50%	63.4%
最終年(R4年度末)	100%	—

計画期間内(H30~R4)橋梁数 : 448橋

(内県管理 : 145橋)

(内市町管理 : 303橋)

R2年度末までに着手した橋梁数 : 284橋

(内県管理 : 106橋)

(内市町管理 : 178橋)

= 橋梁長寿命化着手済み割合 63.4%

(県管理 : 73.1%)

(市町管理 : 58.7%)

◆事後評価まとめ Pa17

道路施設点検および計画的な修繕による信頼性の高いみちづくり（橋梁・トンネル）



①事業の進捗状況

事業費は55.2%の進捗であり、橋梁修繕については、目標446橋に対して、284橋に着手した。

②事業効果の発現状況

計画的に橋梁、トンネルを修繕することにより、信頼性の高い道路交通確保に寄与することができた。

③評価指標の目標値の実現状況

長寿命化に着手した橋梁の割合

中間目標値50%に対して、実績値63.4%となっており、目標値を上回っている。

④今後の橋梁等の計画的な修繕

当計画(Pa17)の事業は、R2年度から補助事業(交付金事業でない)に移行しており、引き続き、各道路施設ごとに長寿命化修繕計画に基づく修繕を行い、信頼性の高い道路交通を確保していく。